



立憲民主党

# 久野美穂

ネットワーク

通信

名古屋市議員

〒454-0835 名古屋市中川区八家町3-46-2 TEL. 052-364-8812 <https://kunomiho.com>  
発行：久の美穂を支える会、名古屋民主市会議員団

号外

令和4年11月発行  
地域版(中川区)  
立憲民主編集部  
〒101-0093 東京都千代田区  
平河町 2-12-4 ふじビル 3F  
TEL. 03-6811-2301

## 市民の声を 市政につなぐ



私が義父で中川区選出の市会議員、久野浩平の後継者として立候補を決心したのは、今から4年前の平成30年(2018)。名古屋市民が豊かでより快適な生活を送る手助けをしたい、そのために市政を身近に感じていただけに、このとき掲げたキャッチフレーズは「やさしさあふれる市政を目指して！」でした。

初挑戦となった翌春の市会議員選挙において、中川区民のみならず、ご支援をいただきました。ここに改めてご支援に感謝申し上げます。ここで改めてご支援に感謝申し上げます。ここで改めてご支援に感謝申し上げます。

精査し、本議会で8回(令和4年10月末現在)質問に立ち、市政のあり方を質すとともに、その解決に道筋をつけるよう努めました(裏面参照)。これこそ「市民の声を市政にとどける」という、市会議員が果たすべき仕事の基本の基であると信ずるからです。

1期目の議会活動を通じて久野美穂が感じているのは、まだまだ解決していない問題や、実現していない要望が山積しているということです。立憲民主党は令和2年(2020)9月の結党大会で、基本理念として「自由」と「多様性」を尊重し、支え合い、人間が基軸となる「共生社会」を創り、「国際協調」をめざし、「未来への責任」を果たすこと、

私はそのモットーを肝に銘じて議員活動をして参りました。市会議員として2期目をめざす決意を新たに固めた今、改めて市会議員としての初心に戻って歩を進める覚悟です。

昭和46年 名古屋市生まれ  
名古屋市立 東山小学校 卒  
金城学院 中学校・高等学校 卒  
慶應義塾大学 文学部 卒

履歴

\*\*\*  
梅村学園 中京大学 元職員  
名古屋市立 中学校 元非常勤講師  
名古屋市立 玉川小学校 元PTA会長  
名古屋市会議員初当選(平成31年4月)

議会歴

令和元年5月～ 土木交通委員会 委員  
大都市制度・広域連携促進特別委員会 委員  
令和2年5月～ 経済水道委員会 委員  
防災・エネルギー対策特別委員会 委員  
令和3年5月～ 総務環境委員会 副委員長  
公社対策特別委員会 委員  
名古屋市会編集委員会 委員  
令和4年5月～ 都市消防委員会 委員  
安心・安全なまちづくり対策特別委員会 副委員長

「教育改革」「高齢者福祉」「女性支援」「災害に強い街づくり」の4本柱を掲げて、平成31年(19)に市会へ送り出していただいて以後、本会議で8回の質問を行いました。久野美穂の問題意識がどこにあったのか、市政のどこに問題があるのか、問い質したことでどうなったのか、議員当選後取り組んだ課題も含めてテーマ毎にまとめてみました。今後のみなさまの市政へのご意見ご提案に資することができれば幸いです。

### 教育改革

児童・生徒が不登校になる一番の原因は学力不振です。そこで次の2点について本会議で質問しました。名古屋が目指すべきは「教育先進都市」です。

●全校への子どもの未来応援講師派遣による補習授業の拡充、そして小学校英語の全ての授業時に専門教育を受けた外国語アシスタント(可能な限りネイティブスピーカー)導入を提案しました。【令和元年(19)11月】

○子どもの未来応援講師派遣は令和元年度85校から現在(令和4年度)は93校と微増。

○外国語アシスタントの英語授業補佐状況は現在のところ目覚ましい進展がないものの、これからも要望し続けます。

●少人数学級の拡大、拡充を提案しました。【令和2年(20)9月】

○令和3年度から小学校3年生の35人学級を全校実施しました。

○令和4年度から小学校4年生の35人学級を全校実施し、以降順次学年を拡大します。

### 高齢者福祉

名古屋市は2020年から人口比で65歳以上の高齢者が25%を超え、現在も増え続けています。高齢者福祉対策は喫緊の課題といえます。

●市営住宅の単身者入居条件緩和を求めました。【令和2年(20)6月】

○質問を受けて入居条件が緩和され、55平方メートルを超える家族向け住宅へ、単身者の入居が進んでいます。

## 久野美穂 1期目の活動を振り返る

### 女性支援

男女共同参画社会を目指します。しかし女性の社会進出、働く女性のための子育て支援など、まだまだ解決しなければならぬ課題山積です。

●子育て支援策としてのトワイライトスクールの事業について、新1年生の受け入れ開始時期を4月1日に統一できないかと要望しました。【令和3年(21)3月】

○令和4年度から全校全て4月1日からの新1年生の受け入れが可能となりました。

●国は指導的地位にある女性割合を30%とする目標を掲げているが、名古屋市の女性職員の割合はその半分しか達成できていない。女性のキャリアアップについて問いました。【令和3年(21)9月】

○市役所職員が育児、介護等で休業する場合の処遇が改善されました。

○質問の場で久野美穂に促されて、女性トップキャリアの杉野みどり副市長が女性職員へ

「一緒に頑張りました。力いっぱい応援していきます」と激励メッセージを述べ、会場から拍手を送られました。

### 災害に強い街づくり

はじめ、さまざまな意味で自然災害大国といえます。戦後、名古屋市は昭和34年の伊勢湾台風、平成12年の東海豪雨で大きな被害が出ました。東南海地震への備えも喫緊の課題です。

●被災者・避難者に女性の視点で援助対応するためにも、女性消防官の積極的採用を提言しました。【令和元年(19)11月】

○質問後、女性消防官の採用人数は令和2年度の1人から、令和3年度は11人へと大幅に増えました。



中川区役所に設置された目安箱



制服姿も凛々しい新女性消防官

●東日本大震災、被災後、名古屋



防災授業

市が陸前高田市へ支援派遣した職員の貴重な体験を、小中学校の防災教育で活かすよう提案しました。【令和3年(21)3月】

○同年6月から多くの小中学校、養護学校の防災授業に職員の講師派遣が行われています。

●令和5年(23)3月、富田公園の中に防災広場が完成予定です。

### 地域の課題解決に向けて

みなさまから寄せられる、住民生活に関わる諸問題を一緒に考え、解決に向けて取り組むことも大切な仕事であると考えています。

●松葉公園内の物置と化した中川土木事務所分所と枯れ木置場を整備して、公園整備と駐車場拡充を提案しました。【令和元年(19)6月】

○令和3年度に予算化され、令和4年(22)3月に整備が完了しました。

●中川区戸田地区にある狭い生活道路の危険解消を要望しました。【令和元年(19)6月】

○令和2年(20)8月に横断歩道が設置されました。

○令和5年(23)3月までに迂回路の砂利道が舗装化される予定です。

○令和4年(22)1月に地域の方々とともに人道橋設置を緑政土木局へ、10月に副市長へ陳情をいたしました。

●富田工場リニューアルに伴い、併設されている公園整備を要望しました。【令和2年(20)9月】

○「気軽に散歩に立ち寄り、自然を感じ、環境保全の意識を高められるような場所として管理して参りたい」と環境局から回答がありました。



副市長への陳情(2022.10.21)

### 効率的な行政のあり方について

市会議員になってわかったことの一つに、非効率な行政の実態があります。タブレット端末不具合を例に、全局にコスト意識を持って貰いたいと願い、予算執行のあり方について質しました。

●市内小中学生全員に配られたタブレット端末に大量の不具合が起きたことについて、販売業者に損害賠償請求すべきではないかと質しました。【令和4年(22)3月】

○財政局からは、今後、物品購入契約約款に損害賠償に関する事項を明記するとともに、各局にその旨指導する、と回答がありました。

●財政局が各局の予算要求を認める場合には、従来以上に各局の予算要求の根拠をしっかりと精査すべきであると主張しました。【令和4年(22)9月】

## 久の美穂を支える会 会員募集

ホームページをご覧ください



郵便：〒454-0835 名古屋市中川区八家町3-46-2  
 電話：052-364-8812 FAX：052-354-0031  
 ホームページ：https://kunomiho.com

入会のお申し込み・お問い合わせ先